

資格取得要件報告書

(1)事例経験

事例1

治療期間	年 月 ~ 年 月 (備考:)		
開始時年齢	歳 月 (学年:)	性別	男 ・ 女
治療頻度	回/週 (備考:)		
スーパーバイザー氏名	Ⓜ		
SV頻度	回/週 (備考:)		
本事例のSV期間	年 月 ~ 年 月 (備考:)		
本例以外のSV期間	年 月 ~ 年 月	このバイザーで 認定する単位数	単位
事例概要			

事例2

治療期間	年 月 ~ 年 月 (備考:)		
開始時年齢	歳 月 (学年:)	性別	男 ・ 女
治療頻度	回/週 (備考:)		
スーパーバイザー氏名	Ⓜ		
SV頻度	回/週 (備考:)		
本事例のSV期間	年 月 ~ 年 月 (備考:)		
本例以外のSV期間	年 月 ~ 年 月	このバイザーで 認定する単位数	単位
事例概要			

(2)個人分析

期間	年 月 ~ 年 月
頻度	回/週 (備考:)
分析家氏名	

(3) 取得単位 * 取得単位数の括弧内は、最低基準単位。

理論学習	合計単位	(4)	
研修名	受講年度	取得単位	
文献講読Ⅰ		(3)	※理論学習は文献講読・WS・S どれも1年間修了につき1単位。 文献講読Ⅰは、「フロイト」、「クライン」、「ビオン」の各テーマについて単位を取得しなければならない。 表にないセミナーは空欄に各自でセミナー名を書き込んで下さい。
文献講読Ⅱ		(1)	
文献講読Ⅲ			
発達障害WS			
被虐待児S			
子どもの心理療法WS			
思春期S			

* 受講年度については、「2020-21年」の場合には「20」と記載してください(開講時の年度を書く)。

体験・事例	合計単位	(18)	
研修名	受講年度	取得単位	
乳児観察		(8)	※1年につき4単位
体験グループ			※年4単位(週1)
個人SV	(1ページに記入)	(8)	※年4単位(週1)、年2単位(隔週)
グループSV		(2)	※年2単位(月2)、年1単位(月1)

論文・発表	合計単位	(6)	
事例学会発表	取得単位	(2)	※研修症例発表の2単位は必須。他の学会については要確認
発表学会	発表年	タイトル	
乳児観察／事例論文	取得単位	(4)	※査読なし論文は2単位、査読つき論文は4単位。
論文掲載雑誌名	発表年	タイトル	

※乳児観察論文もしくは事例論文の査読つきの論文1本は必須(研修症例論文も可)

その他の研修	合計単位		
研修名	主催者	研修期間	代替する研修プログラム
		年 月～ 年 月	
		年 月～ 年 月	
		年 月～ 年 月	

※本NPO以外の研修にて単位を代替する場合に記載。

総単位数	(34)
------	------

「子どもの精神分析的心理療法士」資格申請の必要書類確認書

番号	内容	チェック
①	資格申請書(様式1)	
②	資格取得要件報告書(様式2)	
③	本NPOの研修プログラムの修了証の写し	
④	学会発表のプログラムと抄録(学会名と本人の名前が確認できるもの)	
⑤	論文の抜き刷り、もしくはコピー	
⑥	本NPO以外の研修で単位を代替する場合は、研修内容および修了を確認できる書類	
⑦	宛名に自身の住所氏名を明記した官製はがき	

審査料振込控への写し貼付欄

